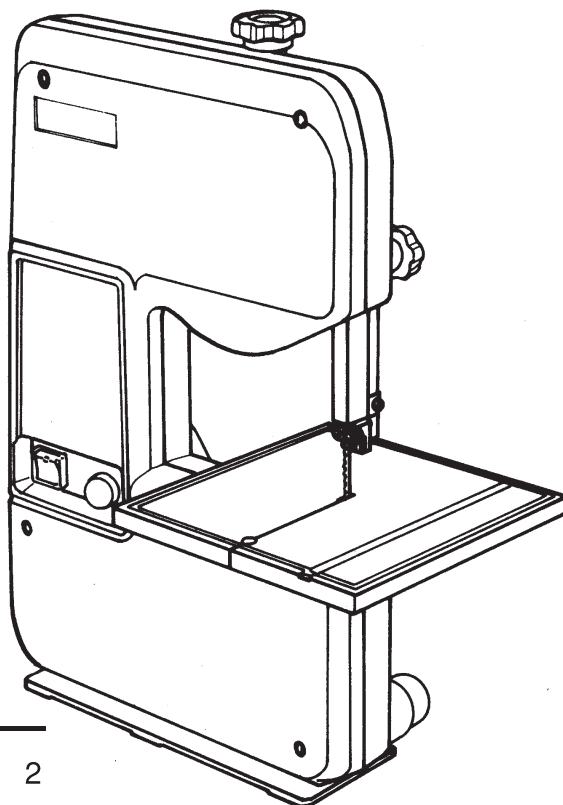


PROXXON

プロクソン ミニバンドソー (帯のこ盤)

取扱い説明書

ご使用前に必ずこの取扱い説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱い説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

● 安全上のご注意	2
● 各部の名称／付属品／仕様 ご使用上のご注意	3
● 本体の組み立て、固定、 操作の方法	4
● No.28172 (ガラス、タイル、石材用) の組み立て方法	7
● 消耗箇所について	9
● 展開図と部品表	10
● 別売部品、保守と点検	11
● アフターサービス	12
● 保証書	12

No.28170 (木工、金工用)

**No.28172 (ガラス、タイル、
石材用)**

KISO
POWER TOOL

この度は、プロクソン・ミニバンドソウをお買い上げ頂きありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守って下さい。
使用前に、これらのすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用して下さい。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管して下さい。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部の表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。

なお、**▲ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているため、必ず守って下さい。

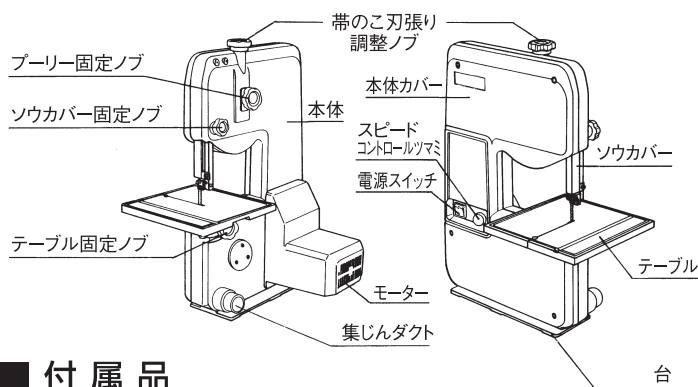
▲ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

▲ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

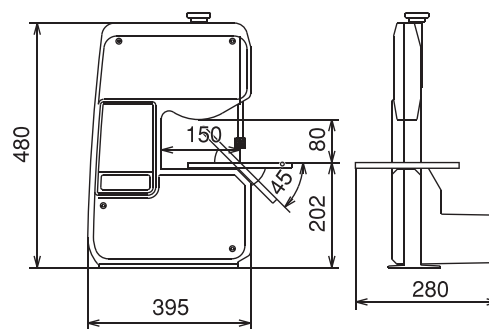
▲ 警 告

- 作業場は、いつもきれいに保って下さい。
 - 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 作業場は、十分に明るくして下さい。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
 - 感電に注意して下さい。
 - 雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにして下さい。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
 - 切断や研磨の作業の際、水、研磨液などは、使用しないで下さい。
 - アース端子の付いている商品は、必ずアースを接続して下さい。
 - 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用して下さい。表示を越える電圧で使用すると回転が異常に高速になり、故障や事故の原因になります。
 - 作業中、無理な負荷をかけたり、銘板に表示してある定格使用时间以上の連続使用をすると、モーター部、電子制御部が発熱し故障の原因になります。
 - 安全に能率よく作業するために、製品の能力に合った速さで作業して下さい。
 - 小型の電動工具は、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
 - 作業中は、手、目や顔を刃物に近づけないで下さい。
 - 子供を近づけないで下さい。
 - 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所に保管して下さい。
 - 指定された用途以外での使用は絶対に行わないで下さい。
 - きちんとした服装で作業して下さい。
 - だぶついた衣服や、長い髪の毛などは、駆動部に巻き付いたりするおそれがあります。
 - 巻き込み事故の防止のため、手袋等の着用は絶対にしないで下さい。
 - 作業中は保護メガネを使用して下さい。粉塵の多いところでは、防塵マスクを併用して下さい。
 - 電源コードを乱暴に扱わないで下さい。
 - 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから抜かないで下さい。
 - 加工する物をしっかりと固定して下さい。
 - 加工する物を固定するために、クランプやバイス(万力)を使用して下さい。
 - 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
 - 次の場合は、電動工具の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
 - 使用しない場合、または修理する場合。
 - 刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - 刃物、砥石、ビット等の付属品の取り付け、及び交換は取扱い説明書に従って確実に取り付けて下さい。確実にしないと、はずれたりして、けがの原因になります。作業に入る前には、必ず試運転をして下さい。
 - 電源を入れる前に、付属品の取り付けに使用したキーやレンチ等の工具類が取り外してあるか確認して下さい。
 - 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源スイッチが切れている(OFF)事を確認して下さい。
 - 屋外で延長コードを接続して使用する場合、屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。
 - 電動工具は、注意深く手入れをして下さい。
 - 刃物類は、常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
 - 注油や付属品の交換は、取扱い説明書に従って下さい。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、メーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにして下さい。
 - 駆動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか、確認して下さい。異常のある場合はメーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
 - 指定の付属品や別売品、または指定している同等品を使用して下さい。それ以外の物を使用すると、事故やけがの原因になります。
 - 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具(刃物類)や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく確認して下さい。そのまま使用すると、事故の原因になります。異常のある場合はメーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造は絶対に行わないで下さい。
 - 修理は必ず弊社までお申し付け下さい。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆その他、取扱い上ご不明の点があった場合、弊社までお問い合わせ下さい。

■ 各部の名称



● 機体寸法



■ 付属品

※No.28170の場合

- バンドソウ帯のこ刃14山(木工、金工用/長1060×幅5×厚0.4mm)ー1本
- L型レンチ(大・5mm/中・2.5mm/小・2mm)ー各1本 ●本体固定用木ネジー5本
- ゴムパイプ・集じんアダプター(電気掃除機とのジョイント用)ー各1ヶ ●角度切りガイドー1ヶ

※No.28172の場合

- ダイヤモンドブレード(長1060×幅3×厚0.3mm)ー1本 ●水槽タンクー1ヶ
- 受け皿ー1ヶ ●ゴムパッキンー1枚 ●ニップルー3ヶ ●ニップル用ナットー1ヶ
- ビニールホース(短ー3本・長ー1本) ●タンク取付けネジー2本 ●角度切りガイドー1ヶ
- L型レンチ(大・5mm/中・2.5mm/小・2mm)ー各1本 ●本体固定用木ネジー5本
- ゴムパイプ・集じんアダプター(電気掃除機とのジョイント用)ー各1ヶ

■ 仕様

電 圧	AC100V 50/60Hz	作業部の寸法	高さ80mm 奥行150mm
消費電力	100W	テーブル寸法	200mm×200mm
刃の周速	130m/分~200m/分(無段電子コントロール付)	テーブル傾斜	右45°
取付け可能な帯のこ刃の寸法	幅3~6mm 長さ1060~1070mm(円周)	重 量	5.5kg

■ミニバンドソウ(帯のこ盤)で使用上のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、ミニバンドソウ(帯のこ盤)として、さらに次に述べる注意事項を守って下さい。

▲ 警 告

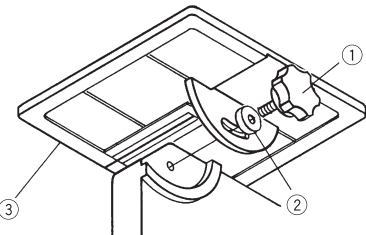
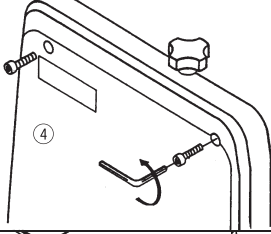
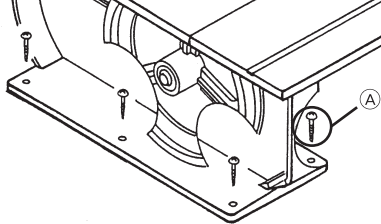
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 電源の接続前に、必ずアース(接地)してください。アースしていないと感電の原因になります。
3. 使用に際しては、安全のため保護メガネを着用してください。また、切りくずを吸い込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
4. 帯のこ刃は純正品もしくは同等品を使用してください。
5. 帯のこ刃が折れ曲がったものや、ヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、帯のこ刃が破損し、けがの原因になります。
6. 作業をする時、必ず作業台、机など固定させて作業して下さい。確実に固定しないと、はずれたりし、けがの原因にもなります。
7. 延長コード使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用して下さい。
・2芯コードのみですと、感電の原因になります。
8. 使用中は、帯のこ刃及び駆動部に手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。
9. 電源スイッチを入れたまま放置しないでください。事故の原因になります。
10. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちに電源スイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはメーカーまで点検、修理を依頼してください。(有償修理)そのまま使用していると、事故の原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、帯のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

▲ 警 告

・定格時間以上の連続使用はしないでください。定格使用時間…30分

- ・長時間使用する場合は、指定の定格使用時間で必ず一度電源スイッチを切り(OFF)、約15分たってから使用してください。(電源スイッチの入切による連続運転は連続使用と同じです。)

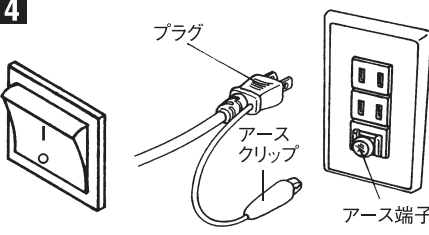
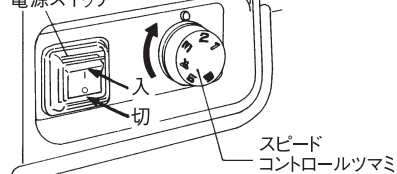
■本体の組み立て、 固定の方法

<p>1</p> 	<p>テーブル③のネジ、ナット、ワッシャをはずします。</p> <p>バンドソー本体にテーブル③をテーブル固定ノブ①、カラー②で取り付けます。</p> <p>テーブル③にネジ、ナット、ワッシャを取り付けてください。</p>
<p>2</p> 	<p>L型レンチ(大)で4本のボルトをゆるめて本体カバー④をはずします。</p> <p>本体カバーを閉める時、ボルトは軽く締めてください。</p>
<p>3</p> 	<p>バンドソーを机または作業台に5本の木ネジでしっかり取り付けます。</p> <p>注意: ④の部分にネジを取り付ける際は、⊕ドライバー(市販品)で集じんダクト内のネジをゆるめ、集じんダクトをはずしてから作業を行ってください。</p>

■電源の接続と スイッチ操作

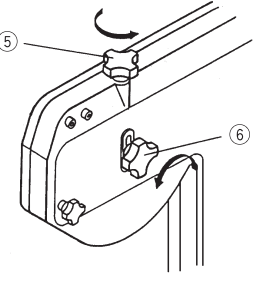
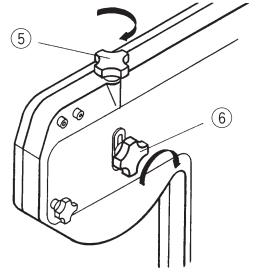
⚠ 警告

電源コード先の電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認してください。電源スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。

<p>4</p> 	<p>電源プラグより出ているアースクリップを利用して、電源コンセントのアース端子にアース接続(接地)をしてください。アース端子がないときは、別にアース棒などを使ってアースを引く工事を行ったうえで、確実に接続してください。</p>
<p>5</p> 	<p>電源スイッチをONにします。(I印を押す) 電源スイッチの右側のスピードコントロールツマミを回します。刃のスピードが変わります。</p> <p>電源スイッチのカバーははずさないでください。電源スイッチの故障の原因になります。</p>

■帯のこ刃の張りの調整

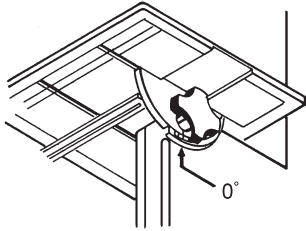
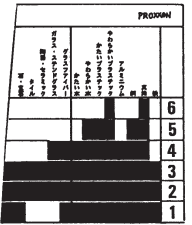
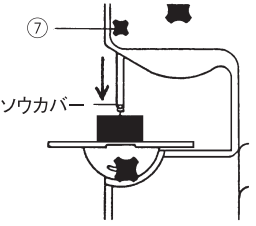
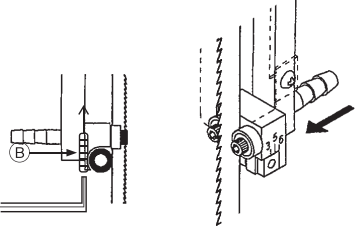
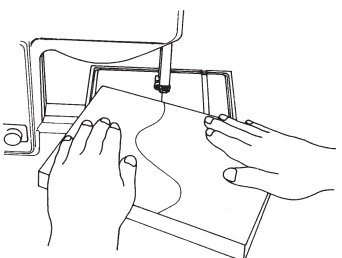
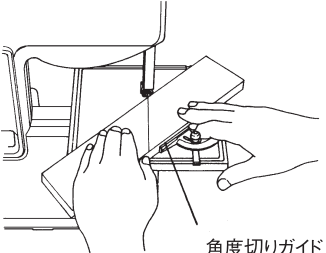
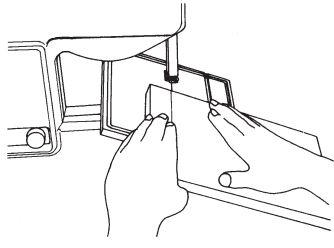
(工場出荷時に
基本的な調整は
できています。)

<p>6</p> 	<p>プーリー固定ノブ⑥を左に半回転ほどゆるめます。次に上部の帯のこ刃張り調整ノブ⑤を半回転ほどゆるめます。この時、あまりゆるめすぎると帯のこ刃がプーリーからはずれません。</p>
<p>7</p> 	<p>帯のこ刃の張り具合を調節します。上部の帯のこ刃張り調整ノブ⑤を右に軽く締めます(水道の蛇口を軽く締める程度)。次にプーリー固定ノブ⑥を締めます。⑤をあまり強く締めると帯のこ刃が切れたり、機械の故障の原因になります。</p> <p>締めかたがゆるいとき、帯のこ刃がスリップする場合があります。⑥をゆるめ、もう少し⑤を締めて下さい。</p>

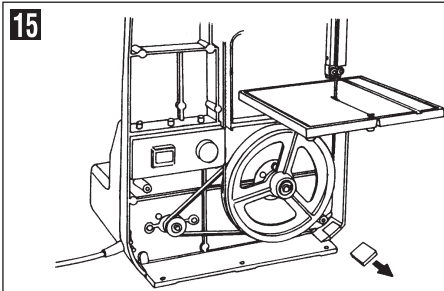
切断作業

▲ 注意

1. 切断する材料は、必ずテーブルに密着させて、切断作業を行ってください。
2. 細かい作業や、うすい材料を切断する場合は、帯のこ刃の山数の多いものを使用してください。
3. 帯のこ刃の特性上、まっすぐに切れない場合があります。あらかじめ、切断する箇所に線を引き、この線を目印に、材料を左右に調節しながら、ゆっくりと切断してください。

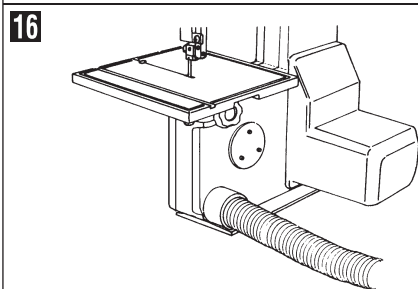
<p>8</p> 	<p>テーブルの角度目盛を確認します。0°または好みの角度に調節してください。</p> <p>(この角度は目安です。正確な角度を必要とされる場合は、テーブル上面と帯のこ刃を分度器などで計測して調節して下さい。)</p>
<p>9</p> 	<p>材料の種類によって周速(帯のこ刃のスピード)を変化させます。電源スイッチ上側の表を見て材料にあったスピードで使用してください。</p> <p>※この表は帯のこ刃の寿命に合った、大体の目安です。</p>
<p>10</p>  <p>ソウカバー</p>	<p>ソウカバー固定ノブ⑦をゆるめてソウカバーを切断する材料の近くまで下げます。</p> <p>(作業安全の為、必ずソウカバーを下げてください。)</p>
<p>11</p> 	<p>⑧のネジをL型レンチ(小)でゆるめ左図のようにローラーが帯のこ刃に軽く触れるように調整します。</p>
<p>12</p> 	<p>曲線の切断</p> <p>円弧や曲線を切断する場合は、送材速度(材料を切り込む状態に合わせて送り込む速さ)や回転数をやや遅くすると切りやすくなります。</p> <p>●幅3.5mmの、帯のこ刃の使用をお勧めします。</p>
<p>13</p>  <p>角度切りガイド</p>	<p>直線(角度)切断</p> <p>付属の角度切りガイドで角度を設定した後、角度切りガイドの金属ガイドをテーブル面の溝に入れ送り込むことにより、直線(角度)切断が安定してできます。</p> <p>●幅5mm/6mmの、帯のこ刃の使用をお勧めします。</p>
<p>14</p> 	<p>傾斜切断</p> <p>テーブル固定ノブをゆるめ、テーブルの傾斜角度を変えます。(最大右へ45度まで傾斜できます。)</p> <p>切断作業に入るときは、必ずテーブルを固定してください。</p>

■切りくずの処理



切断作業時の切りくずを下に落としたいときは、本体カバーを開き、本体右下コーナーのパネルをはずしてください。ここから切りくずは下へ落下します。

- 使用中は時々、使用後は必ず、本体カバーを開き、内部にたまった切りくずを清掃し、取り除いてください。



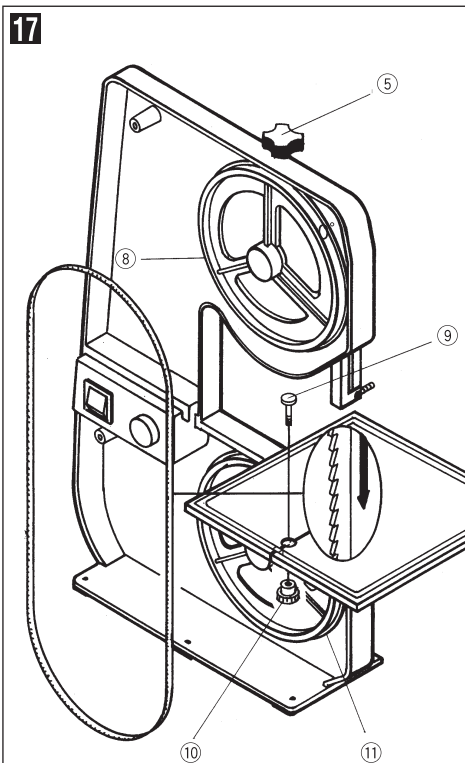
集じんダクトに、お手持ちの掃除機のホースを接続すれば、より快適な状態で切断作業をしていただけます。
(水槽タンク使用時には、使えません)

- 差込口の太さが合わない場合は、付属のゴムパイプ又は集じんアダプターをご使用ください。

■帯のこ刃の交換・取付け方法

▲ 注意

1. 帯のこ刃は、取扱い説明書に従って確実に取り付けてください。確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい帯のこ刃を取り付け、はじめて電源スイッチを入れるときは、帯のこ刃の露出部から一時身体を避けてください。帯のこ刃が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 電源コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにしてください。



- ネジ⑨⑩を取りはずします。
- プーリー固定ノブ⑥と上部の帯のこ刃調整ノブ⑤をゆるめて、帯のこ刃をはずします。

帯のこ刃を取り付ける場合

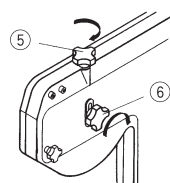
- プーリー⑧⑪に帯のこ刃をかけます。この時帯のこ刃の向きに注意してください。

(イラスト参照)

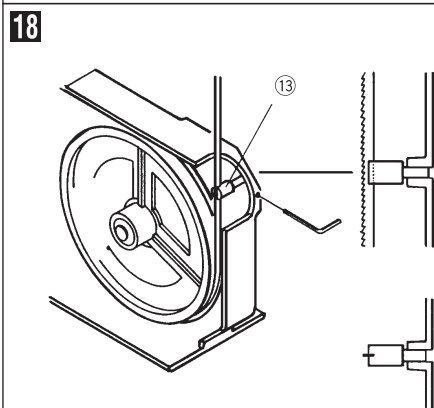
プーリー⑧⑪に帯のこ刃をかけたら、上部の帯のこ刃張り調整ノブ⑤を右に軽く締めます(水道の蛇口を軽く締める程度)。次にプーリー固定ノブ⑥を締めます。

⑤をあまり強く締めるとバンドソー帯のこ刃が切れたり、機械の故障の原因になります。

- 帯のこ刃を取り付けたら再びネジ⑨⑩を取り付けてください。



バンドソー帯のこ刃の方向が逆になっている場合は両手でつまんで帯のこ刃を裏向けます。



帯のこ刃は出荷時に本体に取り付けて調整してありますが、帯のこ刃を交換したり、違ったサイズの帯のこ刃を取り付けた場合、帯のこ刃の性質上、帯のこ刃が前後に移動することがあります。そのときは、帯のこ刃ガイド⑬の溝に帯のこ刃が入るように⑬を前後に移動させてください。⑬はL型レンチ(小)でゆるめます。

イラスト参照

19

**上側の帯のこ刃ガイド
(ローラーガイド)の調整**

③のネジをL型レンチ(中)でゆるめてローラーを帯のこ刃の幅にあわせて調節してください。

帯のこ刃の幅→ガイドの目盛

3~4mm	→	3
4~5mm	→	5
5~6mm	→	6

④のネジで帯のこ刃の厚みを調整しますが、強く締めないでください。ローラーから異音ができる原因になります。(基本的には触らないでください。)

No.28172
**(ガラス
タイル
石材用)**
組み立て方法

! **ダイヤモンド・ブレードでの切断作業の注意**

- 必ず水槽タンクのコックを開いて水を少しずつダイヤモンド・ブレードにかかる様にしてください。
- 材料を切断するとき材料をゆっくり進めて切断してください。
- ダイヤモンド・ブレードで木、金属、プラスチックの切断はしないでください。

20

受け皿
ナット
ニップル

受け皿、外周部分コーナーにある丸穴にニップルを外向きに取り付け、付属のナットで締め付け、固定します。
(※工場出荷時に組み立て済です。)

21

①

受け皿を机または作業台に置きます。ゴムパッキンを受け皿の穴に合わせて、その上にバンドソー本体の穴も合わせて置きます。5本のネジでしっかりと机または作業台に取付けます。
注意: ①の部分にネジを取り付ける際は、⊕ドライバー(市販品)で集じんダクト内のネジをゆるめ、集じんダクトをはずしてから作業を行ってください。

22

ニップル

ニップルをテーブルの下側の2箇所穴にネジ込みます。

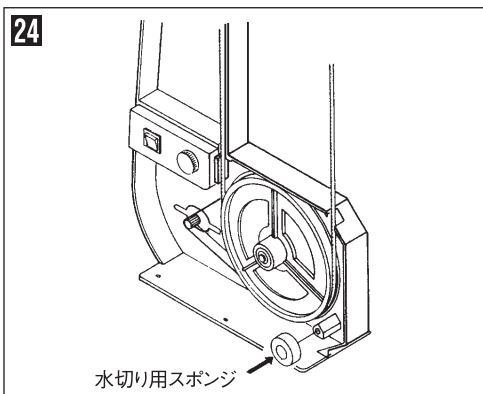
23

① 水槽タンク
コック
②
③
④排水用

① 水槽タンクを本体上部の裏側に取り付けます。
② ビニールホース(短)を水槽タンクからバンドソーのローラーガイド後のパイプに差し込みます。
③ ビニールホース(短)をテーブルの下に取り付けたニップルに差し込み、受け皿に水が流れる様にしておきます。
④ ビニールホース(長)を受け皿のニップルに差し込みます。(排水用)

※No.28170 (木工、金工用)をお持ちの方で、別売品No.28186 ダイヤモンドブレード/ No.28188 水槽タンク・セットをお買い求めになった方へ

▲ 注意
 使用後はローラーガイドに油などを塗ってサビないようにしてください。



- 本体カバーをはずします。
- 図の位置に水切り用スポンジを取り付けて下さい。
- その後は 20～23 を参照して下さい。

7ページ 19 の様にローラーガイドの目盛りを3に合わせて下さい。
 調整が行われていないと、ダイヤモンドブレードの破損の原因になります。

■バンドソウ刃の選択について

バンドソウの性質上(能力上)切断する材料は選びませんが、適した鋸刃を選択されることをお勧めします。
 適材量よりも能力、耐久が低くなる可能性があります。(No.28186・ダイヤモンドブレードを除く)

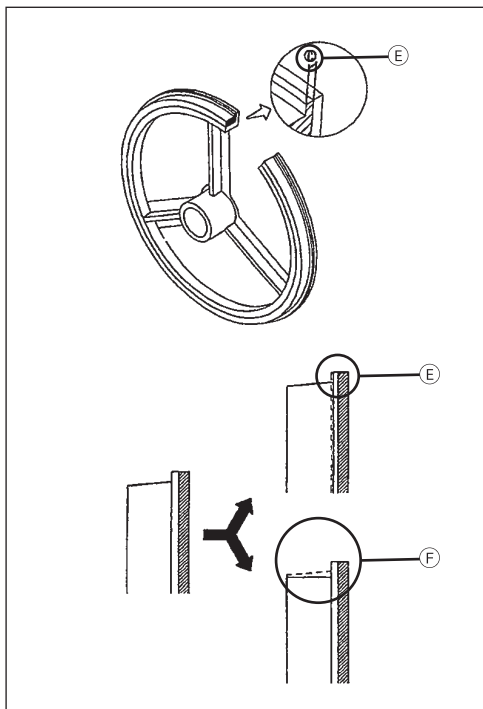
●交換用バンドソウ鋸刃

▲ 注意
 バンドソウの性質上(能力上)切断する材料は選びませんが、より刃を長持させるために適した鋸刃を選択されることをお勧めします。適材量よりも能力、耐久が低くなる可能性があります。特に刃数(山数)と材質は根づまりの関係上、柔らかい材質には刃数の少ないもの、堅い材質には刃数の多いものを選んで下さい。

	山数 刃幅	木工	金属 (鉄、真鍮、アルミ)	一般汎用品 (プラスチック、樹脂材料)	ガラス (セトモノ、カーボン、ガラスファイバー)	イメージ <small>実際とは若干異なる場合があります。</small>
No.28174 金属用(鉄、真鍮など) ※薄板に最適	24 5mm	△	◎	△	×	
No.28175 金属用(鉄、真鍮など) ※薄い木材にも対応し、汎用性が高い	18 5mm	○	◎	○	×	
No.28176 木材用 ※No.28170型タイプに標準取り付け品	14 5mm	◎	△	○	×	
No.28178 樹脂、アルミ用 ※刃幅が薄いので曲線加工性が高い	14 3.5mm	○	△ アルミは◎	◎	×	
No.28179 金属用(鉄、真鍮など) ※薄い木材にも対応し、汎用性が高い	18 3.5mm	○	◎	○	×	
No.28180 金属用(鉄、真鍮など) ※薄板で曲線や細かい作業に最適	24 3.5mm	○	◎	△	×	
No.28182 金属用(鉄、真鍮など) ※薄板で曲線が少くないものに最適	24 6mm	△薄板	○薄板	△薄板	×	
No.28185(ハイタルブレード) 金属用、薄いステンレス(SUS303、304)	10/14 6mm	○	◎ ステンレス薄板も可	○	×	
No.28186(ダイヤモンドブレード) ガラス、セトモノ、カーボン専用 水槽タンクセット必要(別売)	なし 3mm	×	×	×	◎	

◎は、最も適した材料 ×は、使用不可

■ 消耗箇所について



帯のこ刃はもちろんのこといくつか消耗する箇所があります。消耗したままご使用されますと、機械の故障だけでなく、事故の原因や修理不能になる場合があります。次に上げる箇所は常に点検し消耗をしている場合は早めに新しいものと交換してください。

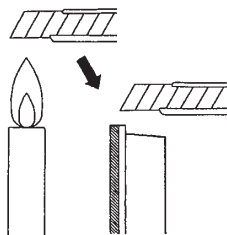
- プーリーリングの背中(E)の部分(樹脂製/白色)がすりへってきた場合。図参照
- プーリーリング(E)の部分の溝が深くなってきた場合。図参照
- 6ページ **18** のガイド⑬の溝が帯のこ刃の幅より深くなったり、ゆがんだり、幅が大きくなった場合。
- 6ページ **19** の上側帯のこ刃ガイド(ローラーガイド)のローラーがスムーズに回らなかつたり、がたつきが出た場合。また、水槽タンク使用時にローラーガイドから水が出なくなった場合。
- 水槽タンクセットを使用されている場合、10ページ **24** の水切りスポンジの破損及び効果がなくなってきた場合。

■ プーリーリングの取り替え方法

▲ 注意

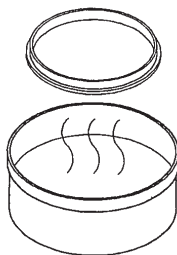
1. プーリーリングとプーリーとの間に隙間があると帯のこ刃の破損の原因になります。必ず、隙間がないことを確認してください。
2. プーリーリングをプーリーにはめ込む際、強くたたかないでください。プーリーが変形し、故障や事故の原因になります。
3. プーリーリングをプーリーにはめ込む際、硬いハンマー等でたたかないでください。プーリーリングに傷がつき、異音を発生する恐れがあります。

25



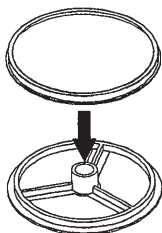
プーリーリングを切断します。
 ● カッターナイフを火であぶりプーリーリングを切断します。
 ● プーリーリングをプーリーからはずします。

26



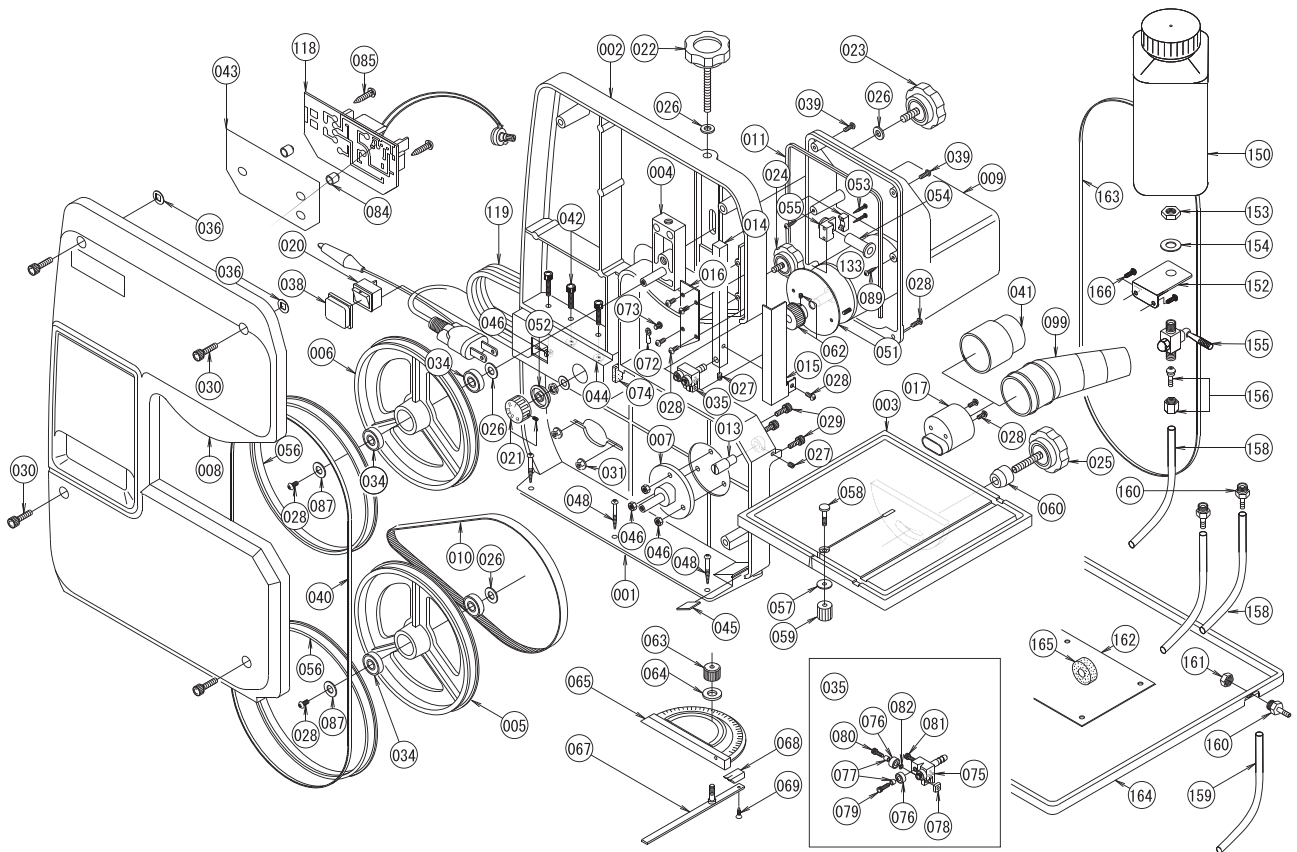
新しいプーリーリングを90℃以上のお湯に3分間ぐらいつけます。

27



図のようにプーリーリングをプーリーにはめ込みます。
 ● プーリーリングをお湯から取り出し冷めないうちにプーリーにはめてください。冷めてしまった場合は、再び **26** の作業を行ってください。
 ● プーリーリングとプーリーの間に隙間ができないようにしてください。
 ※ プーリーを手を持ち、プーリーリングのフチをプラスチックハンマーなどで軽くたたくと効果的です。

■ ミニバンドソウ 展開図
(No.28170/No.28172)



■ 部品表

図番	商品名	備考	図番	商品名	備考	図番	商品名	備考
001	本体 下		038	スイッチカバー		076	ベアリング	
002	本体 上		039	ナベネジ		077	カラー	
003	テーブル		040	バンドソウ刃 14山-幅5mm	※1	078	角ナット	
004	テンションブロック		041	ダスターアダプター		079	六角穴付ボルト	
005	2段 プーリー		042	六角穴付ボルト		080	六角穴付ボルト	
006	1段 プーリー		043	ルミラー		081	六角穴付ボルト	
007	プーリーマウント		044	フランジナット		082	ワッシャ	
008	前カバー		045	集塵板		084	マウント	
009	モーターカバー		046	ナット		085	ナベタッピング	
010	ベルト(285MXL-9.5)		048	木ネジ(本体固定用)		087	ワッシャ	
011	モーターカバーパッキン (NRゴムヒモ)		051	ルミラー		089	ナベタッピング	
013	ガイド下		052	防水カバー		099	ダスタージョイント	
014	ガイド棒		053	ナベタッピング		118	基盤	
015	セーフティガード		054	コードゴム		119	電源コード	
016	ガイド板		055	コードストッパー		133	モーター	
017	ダスター取り付け口		056	プーリーリング		150	水槽タンク	※2
020	スイッチ		057	ワッシャ		152	水槽タンク受け金具	※2
021	スピードコントロールつまみ		058	テーブル傘ネジ		153	タンクナット	※2
022	グリップボルト		059	つまみナット		154	タンクパッキン	※2
023	グリップボルト		060	カラー		155	コック	※2
024	グリップボルト		062	モーターギア		156	タンクニップル	※2
025	グリップボルト		063	分度器ノブ		158	ビニールホース	※2
026	ワッシャ		064	ワッシャ		159	ビニールホース	※2
027	ホーロービス		065	分度器		160	ニップル	※2
028	ナベネジ		067	分度器レール		161	ニップルナット	※2
029	六角穴付ボルト		068	分度器目盛り		162	ゴム板	※2
030	六角穴付ボルト(溝付)		069	皿タッピング		163	ダイヤモンドブレード(#120)	※2
031	フランジナット		072	アース端子		164	水受け皿	※2
034	ベアリング		073	ナベネジ		165	水切りスポンジ	※2
035	ローラーガイド		074	スポンジ		166	ナベネジ	※2
036	ネジ止めリング		075	ローラーガイド本体				

※1 No.28172型には付属していません。 ※2 No.28170型には付属していません。

分解図、部品表中の表現と本文が一致しない場合があります。又、改良のため予告なくサイズ、形状、仕様等が変更になる場合があります。各部品に関するお問い合わせは、必ず 株式会社キソパワー ツール アフターサービス係 までお問い合わせください。

株式会社キソパワー ツール アフターサービス係 tel 06-6693-5353 月～金(祝日除く) 9:00～12:00/13:00～17:00

別売部品

●交換用バンドソウ帯のこ刃 (周長は1060~1070mm)

No.28174 幅5mm 周長1060mm 24山(1本)

No.28175 幅5mm 周長1060mm 18山(1本)

No.28176 幅5mm 周長1060mm 14山(1本)

No.28178 幅3.5mm 周長1060mm 14山(1本)

No.28179 幅3.5mm 周長1060mm 18山(1本)

No.28180 幅3.5mm 周長1060mm 24山(1本)

No.28182 幅6mm 周長1060mm 24山(1本)

No.28185 幅6mm 周長1060mm 10/14山(1本)

※バイメタルブレード

No.28186 幅3mm 周長1060mm

※ダイヤモンドブレード120番(1本)

●オプションパーツ

No.28187 バンドソウ・ローラーガイド

No.28188 水槽タンク・セット ※No.28186ダイヤモンド・ブレードをご使用になる時は、No.28188水槽タンクを取付けてください。

保守と点検

- 使用後は、粉塵などを取り除いたのち帯のこ刃の張りをゆるめて保管してください。
- 使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいてください。
万一、異常があったときはそのまま放置せず、お買上げの販売店またはメーカーに点検、修理を依頼してください。(有償修理)
- 帯のこ刃は乾いた布で汚れを拭き取り、サビ防止のため、薄くサビ止め油などを塗っておいてください。
- 本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにしてください。
- 本体は完全な防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったりしないでください。
また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり拭いたりしないでください。
変形、変色の原因となります。
- 保管は小さいお子様の手の届かない、室内の安定したところにしてください。
また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。

アフターサービス

- 保証について
保証期間（1年間）中の故障につきましては、無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」裏面をご覧ください。）
- 万一故障が発生した場合
故障または修理をご依頼される場合、アフターサービス係までご連絡ください。

アフターサービス係

受付時間 月～金（祝日除く）9:00～12:00・13:00～17:00

直通ダイヤル 06-6693-5353

修理をご依頼の場合、修理品は下記まで直接お送りください。尚、送料はお客様のご負担となります。

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8
株式会社キソパワーツール アフターサービス係

- 補修用部品の保有期間について
この商品の補修用性能部品（商品の特性を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、3年間保有しております。

製造元 **株式会社キソパワーツール**

●商品に関するお問い合わせは
株式会社 **キソパワーツール** アフターサービス係
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8
TEL:06-6693-5353 FAX:06-6693-5355

受付 時間	月～金（祝日を除く） 9:00～12:00 / 13:00～17:00
----------	--

<http://www.kiso-proxxon.co.jp/>